



D.I. 質問箱

Q62

ヘリコバクター・ピロリ（H・P）検査はいろいろありますが、どの項目を選択したらよいでしょうか。併せて、結果値や治療後の確認方法についても教えてください。（今回は主に検査項目の特徴について回答いたします。結果値や治療後の確認方法については、次号お届けいたします。）

A62

●抗H・P IgG抗体（感染の既往、スクリーニング）

陰性の場合、H・P感染陰性と診断ができます。（ただし感染初期や免疫不全などを除く）

除菌判定においては、抗体価の有意な低下が1年以上を要するため適しません。

●便中H・P抗原（現在の感染）

除菌前の感染診断においては、感度、特異度ともに高いです。

除菌判定においても感度は高いですが、偽陰性に注意が必要です。

●尿素呼気試験ユービット、ピロニック（現在の感染、除菌判定）

除菌前、除菌判定の診断において、感度、特異度ともに高いです。

治療後、陰性の場合、除菌成功の確率は高いです。

その他「H・P培養同定」「H・P判定（病理学的検査）」等もありますが、ここでは割愛させていただきます。

【レセプト審査関連】除菌前の感染診断では、「胃潰瘍または十二指腸潰瘍」の確定病名及び「ヘリコバクター・ピロリ感染の疑い」という病名が必要です。

お問合せ：学術データインフォメーション（D.I.）課まで

0120-14-8734（フリーダイヤル）/ 082-247-4325（ダイヤルイン）



昨年のごことです。天候もよく実りの秋を迎えるため草刈に励んでいた8月中旬のごことです。田の周りの草を刈りながら今年はよく出来ているので秋が楽しみだと稲の方に目をやった時です。そこにあるはずの稲が見えません！よく見ると、稲は倒され、無残な姿に…。全身の力が抜け呆然としました。そう、猪が田の中で“運動会”をやったようです。被害はわが家だけではなく、近所の方と一緒に猪との知恵比べ、そして稲刈りと大変な日々を過ごしました。今年は5軒で電気柵を共同購入し、7月の末に設置する予定です。これで被害が防げれば良いのですがどうなることでしょうか。

正木 篤志（業務システム課課長補佐）

広報委員

松本 道雄 / 藤本 誠 / 伊丸 直樹 / 中村 賢作 / 渡川 美弥子 / 初岡 博 / 熊川 良則 / 高磨 潤



2

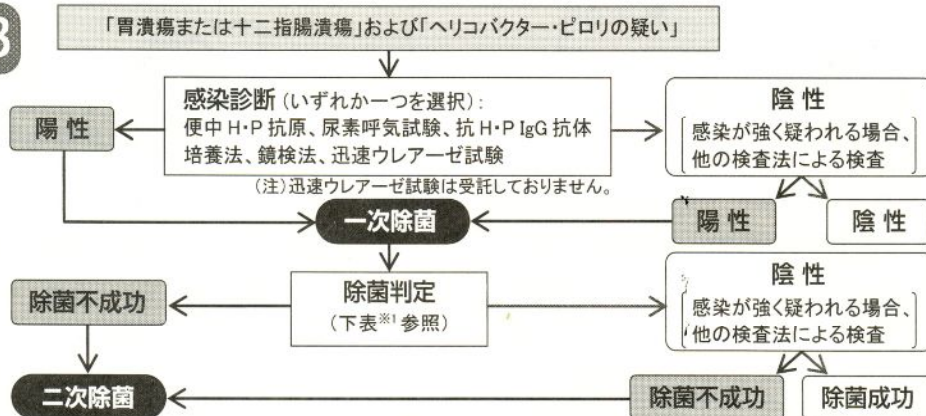


D.I. 質問箱

Q63

(前月号からの続きです。) ヘリコバクター・ピロリ (H・P) 菌の感染診断から除菌判定までの流れを教えてください。

A63



※1: 除菌判定に有用な検査	除菌判定	検査容器
便中ヘリコバクター・ピロリ抗原	治療終了後 4 週以降	専用容器 (無料) ^{※2}
尿素呼気試験 (ユービット、ピロニック)	治療終了後 4 週以降	ユービット: 呼気バッグ (有料) ピロニック: 呼気スピッツ (無料) ^{※2} (尿素呼気試験に使用する尿素製剤は、各医療機関にてご購入ください。)
抗ヘリコバクター・ピロリ IgG 抗体	治療終了後 6 か月以降 (抗体が陰性化しない場合もあるので、他の検査ができない場合のみ実施します。)	生化学容器 (X 容器)

※2: 便中 H・P 抗原専用容器、呼気バッグ、呼気スピッツについては、当検査センターにご用命ください。
お問合せ: 学術データインフォメーション (D.I.) 課まで
0120-14-8734 (フリーダイヤル) / 082-247-4325 (ダイヤルイン)

きやつちボール

先月号、今月号の2回で「HIV 感染症と臨床検査」をお届けいたしました。

HIV は性交渉などに乗じてたくみに感染しますが、その後は長い間(10 年前後)何の症状もないため、本人も気づかないまま感染を広げてしまいます。このような潜在的な HIV 感染者は検査でしか発見できません。最近では、私たちが医療機関を受診した際に実施されるスクリーニング検査に HIV 検査を加えようとする動きが少しずつ広がりつつあるそうです。ぜひこの動きが拡大してほしいものです。早期に発見されれば疾患をコントロールできる時代なのですから!

一方で、皮膚常在菌や腸内常在菌は、いつも私たちが外敵から守ってくれています。「微生物に対する感謝の気持ち」も忘れずにいたいものです。

熊川 良則(広報委員)

広報委員

松本 道雄 / 藤本 誠 / 伊丸 直樹 / 中村 賢作 / 渡川 美弥子 / 初岡 博 / 熊川 良則 / 高磨 潤





社団法人 広島市医師会

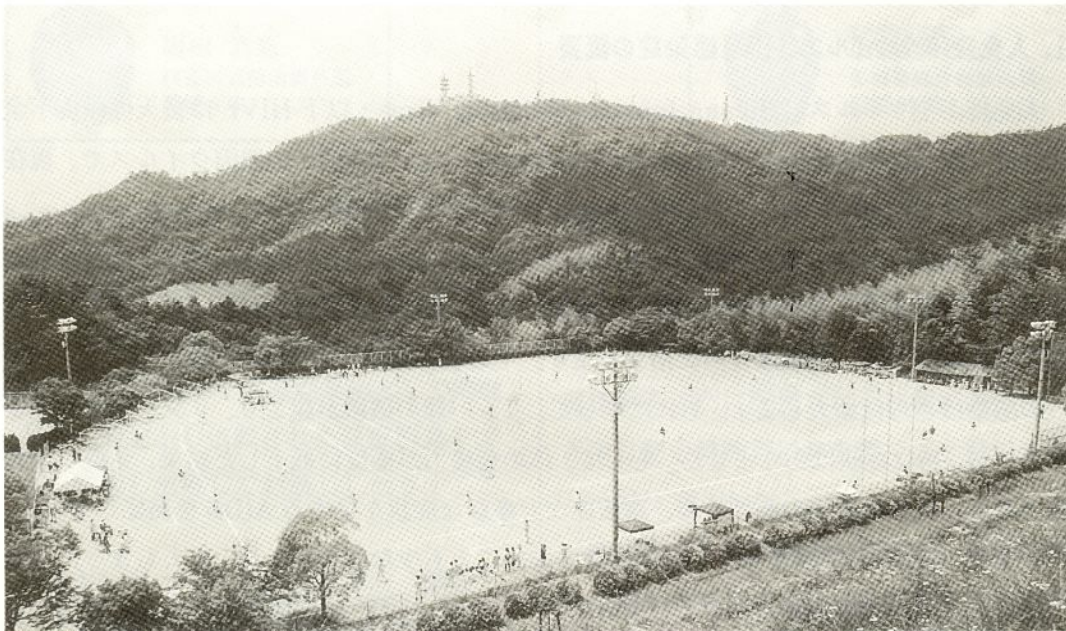
臨床検査センターだより

平成 21(2009)年



第 389 号

〒730-8611 広島市中区千田町3丁目8番6号
TEL: (082)247-7191 / FAX: (082)244-0403 / フリーダイヤル: 0120-14-7191
http://www.city.hiroshima.med.or.jp/hma/center/index.html



第8回検査センター杯ソフトボール大会会場：己斐スポーツセンター広銀の森 平成21年5月31日(→8頁参照)

平成21年7月

目次

検査室発

HIV感染症と臨床検査【前編】

—HIV感染症の概要から診断まで— 2

① ホームページでは広報誌をカラーでご覧いただけます。 10

② 推算 GFR 値 (eGFR) の検査報告書への記載について **準備中** 10

交流会

第8回 検査センター杯ソフトボール大会報告 8

◇今月の笑顔 11

◇D.I. 質問箱 12

◇きゃっちボール 12

広島市医師会臨床検査センター理念

広島市医師会会員の支援および地域医療の発展拡充に貢献すること



社団法人 広島市医師会

臨床検査センターだより

平成 21(2009)年

8

第 390 号

〒730-8611 広島市中区千田町3丁目8番6号
TEL: (082) 247-7191 / FAX: (082) 244-0403 / フリーダイヤル: 0120-14-7191
<http://www.city.hiroshima.med.or.jp/hma/center/index.html>



免疫血清部門の視察(平成21年7月16日 第40回産業医実地研修会にて)

平成21年8月

目次

検査室発

HIV感染症と臨床検査【後編】

—治療の現状とHIV感染防止策— 2

- ◇今月の笑顔 5
- ◇D.I. 質問箱 6
- ◇きゃっちボール 6

広島市医師会臨床検査センター理念

広島市医師会会員の支援および地域医療の発展拡充に貢献すること